



かながわ「福島応援」プロジェクト

2025年度 定例総会（第14回）

福島の元気に！
福島の笑顔に！
福島に長く関わる！

「私（みなさん）が福島を伝える。
福島を訪ねて、見て、聴いて、知って、対話する。」

- 日時 : 2025年6月7日（土） 13:30～14:45
- 場所 : 男女共同参画センター横浜南フォーラム南太田 2階大会議室

式次第

1. 13:30 開会挨拶 / 代表 渡辺孝彦
2. 13:35 議長選出 / 議事録署名人選出
3. 13:40 総会成立確認（正会員の過半数出席）
4. 13:45 議案・審議
 - 13:45 第1号議案 2024年度活動・会計実績 [渡辺]
 - 13:55 第2号議案 2024年度監事監査報告 [渡辺]
 - 14:00 第3号議案 2025年度役員・報告 [渡辺]
 - 14:10 第4号議案 2025年度活動・予算計画 [渡辺]
6. 14:20 福島の現況報告 [東]
7. 14:30 今後の運営・活動へ討議・意見交換 [渡辺]
8. 14:40 閉会挨拶（10分休憩後、15:00から勉強会）

<第1号議案> 2024年度活動実績 [報告:渡辺]

《事業1》 現地活動 事業担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>現地が必要とする復旧復興のニーズに応え、一緒に汗をかく、つながる。11便を計画。 (1)レンタカー、自家用車相乗り、現地集合解散で計画する (2)活動に加えてミニ視察研修など、一泊二日で地元の様子を見ることのできる企画とする</p>
<p>実績</p>	<p>○ レンタカー、自家用車利用などで11回計画、3便追加して、11便実施した。3便は見合せ。 実施は概ね計画通りで◎、但し参加者などは固定化（2～4名）している、継続課題である。 (実施) 浪江花卉栽培、葛尾田植え・稲刈り、相馬花火、田村ホップ収穫、双葉町ダルマ市 吾妻山麓ブドウ収穫、長井田植え・草取り・稲刈り（自費活動）、他個人参加※など。 (見合せ) Green Project（3回）※個人：富岡つつじ植栽、浪江さくら手入れ、吾妻山麓移植</p>

《事業2》 連携活動 事業担当：東、渡辺

<p>計画</p>	<p>被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。年4回を計画。 (1)各種交流会、情報連携会議に出席する (2)福島訪問を4回計画する</p>
<p>実績</p>	<p>◎ 現地訪問を含めて、他団体・行政との連携を進めた。2回実施。 2回の訪問に留まったが、現地との繋がりを維持、目的は達成している。 ①SSVN総会出席、運営委員会は日が合わず欠席が多かった。 ②あゆむ会理事会、総会は開催日程で都合がつかないため委任とした。 ③現地訪問は、4回計画であったが2回で目的が達成されたので今年度は残り2回は見送った。➡</p>

<第1号議案> 2024年度活動実績 [報告:渡辺]

《事業3》 視察研修 事業担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>福島県内の地域を訪問して、福島の当時・今・これからを伝えていく。11月に計画。 (1)実施形態：小型バス、一泊（各自実費） (2)視察計画：2023年3月31日解除の浪江町 大堀地区、津島地区など検討</p>
<p>実績</p>	<p>◎ いわき市駅での現地集合、現地解散、現地レンタカー運用で実施した。 中間貯蔵施設の視察は福島を知る一つの間、また古殿町は講演頂いた先で交流ができた。 ・実施日：2024年11月16日（土）～17日（日） ・視察先：大熊町の中間貯蔵施設、古殿町（宿泊は古殿町の古民家施設） ・移動：参加者が8名であり、前述の通り現地集合、現地解散、現地レンタカー運用とした。</p>

《事業4》 情報発信 事業担当：東、渡辺、平野

<p>計画</p>	<p>講演会、勉強会、オンラインイベント等を通じて、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。 (1)勉強会：2024年6月8日（土） (2)講演会：2025年1月13日（土）（講師候補は、会員の提案等により調整していく）</p>
<p>実績</p>	<p>◎ 会場開催で各実施した。 勉強会は、会員と連携団体の講師から、能登半島地震の支援活動の様子を伺った。 講演会は、双葉町ダルマ市の関りで双葉町の方から生の声をお聞かせいただいた。良かった。 (1)【勉強会】2024年6月8日（土）実施（13人参加） (2)【講演会】2025年2月14日（金）実施（31人参加）※半数は初めての方の参加</p>

<第1号議案> 2024年度活動実績 [報告:渡辺]

《事業5》 災害復旧支援 事業担当：平野、渡辺

計画	<p>動ける体制を整える。災害時の支援要請に応じ活動する。</p> <p>(1)国内で自然災害等が発生した場合に現地活動に限らず、動ける体制整備。 (2)実際の活動については現地の状況に応じて決定する。平時から他団体との情報交換。</p>
実績	<p>△ 令和6年の能登半島地震の被災地支援を一部実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県内の他団体協力リーダー・個人参加した。また、個人でも2回程現地活動を行った。 ・ 現地までの移動、受け入れ先、宿泊先、スタッフ、資金など課題もあり、能登半島地震の被災地支援は直ぐの行動は難しい状況にあった。 ・ また、協働も難しく、引き続き、資金調達を含めて独自での活動で検討していく。

《維持管理》 維持管理 担当：渡辺、東

計画	<p>現地訪問は事業2（連携活動）へ移行、維持管理は純粹に維持活動を管理とする。</p> <p>(1)総会は6月に計画 (2)定例会は会場を4回として、他はZoom開催とする。</p>
実績	<p>◎ 計画の通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会は、2024年6月8日に会場で実施して15名の参加があった。 ・ 定例会は、全て計画通りに実施した。

《有志活動》

計画/実績	<p>スポット。「美味しいふくしま」を通して福島食、文化、地域の魅力を伝えるなど。特になし。</p>
-------	--

<第1号議案> 2024年度会計実績 [報告:渡辺]

(単位:円)

科目	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
I 経常収益								
※1 1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	78,000	78,000
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000
※1 2. 受取寄付金(新規)	171,453	0	0	0	0	171,453	0	171,453
【事業計画】	299,804	37,360	61,750	61,000	0	459,914	40,086	500,000
※1 3. 受取支援金等	80,000	80,000	60,000	80,000	0	300,000	0	300,000
【事業計画】	50,000	50,000	50,000	50,000	0	200,000	0	200,000
※1 4. 受取目的寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0
(※2助成金)【事業計画】	0	0	0	0	200,000	200,000	0	200,000
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
※1 6. 前期繰越金(寄付)	271,256	200,000	50,000	50,000	0	571,256	65,753	637,009
※1 7. 前期繰越金(目的)	0	0	0	0	0	0	0	0
※1 8. 前期繰越金(会費)	0	0	0	0	0	0	0	0
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	239	239
経常収益計	522,709	280,000	110,000	130,000	0	1,042,709	143,992	1,186,701
【事業計画計】	621,060	287,360	161,750	161,000	200,000	1,431,170	205,839	1,637,009
その他経費計	318,225	122,810	65,012	95,288	0	601,335	41,785	643,120
経常費用計	318,225	122,810	65,012	95,288	0	601,335	41,785	643,120
当期経常増減額	204,484	157,190	44,988	34,712	0	441,374	102,207	543,581



<第2号議案> 2024年度監事監査 [報告:田村]

監事監査の目的	監事監査結果
<p>1. 役割 監事はkfop活動を独立した立場でkfop会計および事業の実施状況を監査する。 不備、不具合、改善点があれば、指摘および改善を指導する。</p> <p>2. 位置付け 正会員であるが、総会（事業計画、実績）の議決権は有しない（独立の立場）</p> <p>3. 監査サイクル 監査は四半期毎に行い、代表宛に報告する。 年度末に年度の監事監査を行い、代表に報告する。</p> <p>4. 目的1：事業監査 事業、規約、期初計画に沿う事業実施であるか</p> <p>目的2：会計監査 事業、規約、期初計画に沿う会計実施であるか</p>	<p>かながわ「福島応援」プロジェクト（以下、「kfop」という。）の2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）の事業及び会計について監査したので報告する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1. 監査方法の概要</p> <p>役員及び会員等と意思の疎通を図るべく定例会や現地活動等に出席し、代表から状況について報告を受け、さらにホームページや重要な関係書類を閲覧し、事業及び会計について監査した。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2. 監査結果</p> <p>詳細次ページ、監査報告書は別添。</p> <p style="text-align: right;">2025（令和7）年4月10日</p> </div>





<第2号議案> 2024年度監事監査 [報告:渡辺]

1) 事業監査

総括として、事業は概ね良好である。

2024年度は年度の56事業を計画通り実施して、参加者は延べ231人であった。登録メンバーは318名で前年より15名の増加であった。主に講演会ご参加の方の「情報発信」登録である。講演会・勉強会は福島に関心、またkfop活動を知る良い機会である。現地活動、福島訪問、視察研修も概ね計画通りに実施した。ただし、会員の参加は十分ではない、正会員は4減しており、東日本大震災から長年の活動であり、次世代の会員の参加、福島、我々の課題を再認識して、関心を寄せて行き続けることが望まれる。

2) 会計監査

総括として、会計収支元帳、預金通帳、領収書等証拠書類、活動計画書、財務諸表注記等のすべて相違なく適正に処理されていることを確認した。

予算は、財務諸表の注記の通り計画収入1,637千円、これに対して実績収入は1,186千円と計画比▲451千円であった。特に会員の会費、一般寄付が大幅に未達であった。事業運営は活動の一部調整、自家用車の運用、見通しのこまめな管理で概ねの計画を達成してきている。kfop事業は会費、寄付で運営できている、事業同様に会員が福島へ関心を寄せ続けて行き、会費および寄付増へ繋がるのが肝要である。

3) 監事提言

- ・登録メンバーの増加は、講演会や勉強会等の参加者からと考え、講演会勉強会の広報を広げ参加者を増やす意味がある。更なる広報を提言する。
- ・正会員4減を考えると、対策が必要である。正会員の声を聴く企画はどうだろうか。
- ・活動便・視察研修便に一人でも多くの参加者が増えることが必要である。そのために現在発信されている、活動便の報告を大事にしたい。写真など様子が分かる報告など工夫されている。これからもお願いしたい。



<第2号議案> 2024年度監事監査 [報告:渡辺]

かながわ「福島応援」プロジェクト
監事 田村 武司

監事報告書(2024年度決算)

かながわ「福島応援」プロジェクト(以下、「kfop」という。)の2024年度(令和6年4月1日~令和7年3月31日)の事業及び会計について監査したので報告する。

1. 監査方法の概要

代表・会計からの報告及び総会・定例会・活動の状況を受け、また、ホームページや重要な関連書類を閲覧し、事業及び会計について監査を実施した。

2. 監査結果

(1) 事業監査

総括として、事業は概ね良好である。

ただし、会員が福島へ関心を寄せ続けて行くことが肝要である。

2024年度は年度の56事業を計画通り実施して、参加者は延べ231人であった。登録メンバーは318名で前年より15名の増加であった。主に講演会ご参加の方の「情報発信」登録である。講演会・勉強会は福島に関心、またkfop活動を知る良い機会である。但し、正会員は4減しており、会員が福島へ関心を寄せ続けて行くことが肝要である。

現地活動、福島訪問、視察研修も概ね計画通りに実施した。ただし、会員の参加は十分ではない、東日本大震災から長年の活動であり、次世代の会員の参加、福島、我々の課題を再認識して、関心を寄せて行き続けることが望まれる。

令和6年の能登半島地震の被災地支援については、神奈川の関係団体の協力要請に応じて支援バス便のリーダーを務めた。また、今年起きた能登半島の大雨・水害の現地活動にも個人活動であるが「災害復旧支援」として活動を行った。

情報発信では、6月の勉強会で、会員の方、連携団体の方に講師を依頼して、能登半島地震の状況、支援活動参加の様子などお話をいただいた。また、福島の方から講師をお招きしての講演会は、福島の方の言葉で直接話が開ける貴重な機会であった。現地訪問だけでなく、多様な福島との繋がりは今後とも必要である。

(2) 会計報告

総括として、会計収支元帳、預金通帳、領収書等証拠書類、活動計画書、財務諸表注記等のすべて相違なく適正に処理されていることを確認した。但し、事業同様に会員が福島へ関心を寄せ続けて行き、会費および寄付増へ繋がるのが肝要である。

予算は、財務諸表の注記の通り計画収入1,637千円、これに対して実績収入は1,186千円と計画比▲451千円であった。特に会員の会費、一般寄付が大幅に未達であった。

事業運営は活動の一部調整、自家用車の運用、見通しのこまめな管理で概ねの計画を達成してきて

いる。kfop事業は会費、寄付で運営できている、事業の報告にも関連するが会員が福島へ関心を寄せ続けて行くことが肝要である。

支出は、前述の通り調整、こまめな管理で不足ないように進められた。特に問題はない。

3. 監事提言・期待

(1) 評価

- ・課題表記の「参加者(私、みなさん)」が、とても心に伝わる言葉である。
- ・ホームページでは、常に更新されkfopの様子が分かる。募集案内では、詳細の計画案内がされている。
- ・多くの方々から継続的に寄付や支援を頂いている。丁寧な情報発信と運営からだと思える。役員さんの熱心な活動に感謝します。
- ・福島訪問では、事前の連絡調整を丁寧に行い、関係を大事に進めていた。

(2) 期待

- ・現地活動に参加者の事情に合わせた企画がされた。2泊と1泊の参加など参加の幅、参加しやすい工夫がされていた。企画が大変ですがこれからも続けて欲しい。
- ・講演会では、福島の方の話で、本当の福島、本音の福島の心を聴かせて頂いた。直接聞くことは、横浜での福島体験でもあった。(登録メンバーの増加に繋がっていた)これからも続けて欲しい。

(3) 提言

- ・登録メンバーの増加は、講演会や勉強会等の参加者からと考え、講演会勉強会の広報を広げ参加者を増やす意味がある。更なる広報を提言する。
- ・正会員4減を考えると、対策が必要である。会費なしの一般会員へのお誘いをしたい。そこから、講演会など福島の方から直接話を聞く会に繋がらないかと考える。
- ・活動便・視察研修便に一人でも多くの参加者が増えることが必要である。そのために現在発信されている、活動便の報告を大事にしたい。写真など様子が分かる報告など工夫されている。これからもお願いしたい。

以上

令和7年5月3日

監事 田村 武司





<第3号議案> 2025年度役員

[報告:渡辺]

役員				事業担当役員		
区分	役割	氏名	兼務等	事業	事業名	主担当
役員	代表	渡辺 孝彦	会計、渉外、 あゆむ会 副理事長 SSVN運営委員	事業1	現地活動	渡辺孝彦,東 尚子
	広報	東 尚子		事業2	連携活動	渡辺孝彦,東 尚子 ,平野香誉子
	災害 復旧 支援	平野 香誉子		事業3	視察研修	渡辺孝彦,東 尚子
監事		田村 武司	事業監査、会計監査	事業4	情報発信	東 尚子 ,渡辺孝彦, 平野香誉子※1
				事業5	災害復旧支援	平野香誉子,東 尚子 ,渡辺孝彦
				維持管理		渡辺孝彦,東 尚子
				有志活動 ※2		全役員

**役員は2024年度から2年の任期です。
審議不要、報告まで**

※1 「情報発信」の講演会の主事業担当
 ※2 「美味しいふくしま」は有志活動の一つです。

<第4号議案> 2025年度活動計画 [報告:渡辺]

《事業1》 現地活動 事業担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために一緒に汗を流し、つながる。11便を計画する。 <予算：621,060円></p> <p>(1)レンタカー、自家用車相乗り、現地集合解散などで計画する (2)活動日程は、事業カレンダーの通り (3)高速代、燃料代は@3,000円を参加者で実費按分する（二泊のときは@5,000円） ①田植え・稲刈りは、葛尾村と山形県長井市で例年参加、5月と9月～10月で計画。 ②浪江町の花き栽培のお手伝いを計画する（繁忙期の手伝い） ③田村市のホップジャパンでのお手伝い（麦栽培、ホップ収穫等、適宜）を計画する。 ④双葉町ダルマ市でのお手伝い（ふたばプロジェクト他）を計画する。 ⑤その他、会員の企画に応じて計画する（個人参加可）</p>
-----------	---

《事業2》 連携活動 事業担当：渡辺、東、平野

<p>計画</p>	<p>被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。 <予算：287,360円></p> <p>現地訪問を連携活動に置く。</p> <p>(1)現地訪問を年4回実施する（継続） (2)各種交流会、情報連携会議に出席する。連福など支援団体登録も継続する。 (3)かながわ避難者と共にあゆむ会（以下あゆむ会）の団体会員を継続する。会費：5,000円 (4)相模原災害ボランティアネットワークの団体会員を継続する。会費3,000円</p>
-----------	--

<第4号議案> 2025年度活動計画 [報告:渡辺]

《事業3》 視察研修 事業担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>福島県内の地域を訪問して視察研修を実施し、福島の当時・今・これからを伝えていく 継続計画する。 <予算：100,000円></p> <p>団体として継続して視察研修を実施していく。</p> <p>(1)実施形態：現地集合、現地解散、現地レンタカー、一泊（各自で調達・実費支払い） (2)実施時期：2025年11月15日（土）～16日（日）で計画（仮置） (3)予算は、レンタカー代、高速代、ガソリン代、宿泊費用、雑費他 (4)視察計画：調整していく（福島12市町村、除染土壌の2045年県外最終処分の流れなど）</p> <p>①宿泊費、飲食費は参加者実費 ②参加費：参加者の実費×最低10人</p>
-----------	--

《事業4》 情報発信 事業担当：東、渡辺、平野 ※講演会：平野

<p>計画</p>	<p>講演会、勉強会、オンラインイベント等を通じて、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。 勉強会、講演会を計画する。 <予算：149,000円></p> <p>(1)勉強会：2025年6月7日（土）※総会に続けて行う (2)講演会：2026年1月17日（土）（講師候補は、会員の提案等により調整していく） (3)その他：福島の情報、活動の様子など発信していく (4)講演会は、可能であれば「美味しいふくしま形式」で開催したい</p>
-----------	---



<第4号議案> 2025年度活動計画 [報告:渡辺]

《事業5》 災害復旧支援 事業担当：平野、東、渡辺

<p>計画</p>	<p>発災時に機動的に動く。災害時の支援要請に応じ活動する。<予算：200,000円> (1)国内で自然災害等が発生した場合に現地活動に限らず、動ける体制整備を継続する (2)かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行う (3)相模原市の災害においてはSSVNと連携する (4)協働が見込めるところは連携し、協働が見込めないところはやむなし、kfop単独で動く (5)災害時の活動資金は、財団の助成金等を申請して活動する</p>
-----------	--

《維持管理》 担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>基本の維持管理とする (現地訪問は連携活動に移した) <予算：190,661円> (1)総会：6月7日(土) ※勉強会、懇親会も行う (2)定例会は、 ①四半期ごとにリアル開催し、その後懇親会を設ける ②他の月は、Zoomオンライン (20:00-22:00) で開催とする (3)その他、維持管理事項の管理を行う ①印刷製本費、②会議費、③通信費③WEBアルバム、④Zoom、⑤ロッカー代等の管理</p>
-----------	--

《有志活動》

<p>計画</p>	<p>スポット。「美味しいふくしま」など</p>
-----------	--------------------------





<第4号議案> 2025年度予算計画 [報告:渡辺]

(単位:円)

科目	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
I 経常収益								
※1 1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
※1 2. 受取寄付金(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	74,220	19,840	50,000	99,500	0	243,560	26,440	270,000
※1 3. 受取支援金等	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	50,000	50,000	50,000	50,000	0	200,000	0	200,000
※1 4. 受取目的寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0
(※2助成金)【事業計画】	0	0	0	0	200,000	200,000	0	200,000
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
※1 6. 前期繰越金(寄付)	195,006	217,520	0	0	0	412,526	0	412,526
※1 7. 前期繰越金(目的)	0	0	0	0	0	0	0	0
※1 8. 前期繰越金(会費)	46,834	0	0	0	0	46,834	84,221	131,055
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	241,840	217,520	0	0	0	459,360	84,221	543,581
→【事業計画計】	366,060	287,360	100,000	149,500	200,000	1,102,920	190,661	1,293,581
その他経費計	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	241,840	217,520	0	0	0	459,360	84,221	543,581

その他詳細は、kfop2025-k0001-03 2025年度(R07)_活動方針、事業計画、予算計画v14.0をご参照ください。



今後の運営・活動へ討議・意見交換

kfop活動の方向について（役員、正会員、賛助会員、一般会員他全員で）

私（みなさん）が福島を伝える。福島を訪ねて、見て、聴いて、知って、対話する。
（福島を訪れ、福島の方々と一緒に活動し、交流する。）

2025年は東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から15年目になりますが、福島の様子は変わり続けています。現在も、7市町村（南相馬市、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）の一部に帰還困難区域が残り、これは福島県の面積の約2.4%（約337平方キロメートル）に相当します。中でも、双葉町では面積の95%、浪江町は80%、大熊町は62%が帰還困難区域です（参考：復興庁資料、各種報道資料）。私たちの活動によって何かを大きく動かせることはないかもしれませんが、関心を持ち続け、伝え続け、共に考えることで、福島の復興、心の復興を後押ししたいと考えています。ご参加の皆さんも、できる範囲で関わり続けていただけたらと願います。

①体制（含む役員）、③事業内容について皆さんで討議。意見交換していただき、今後の活動へ反映していきたい。

具体的には以下。

①体制（役員3名、監事1名）

・意見・討議集約：

②事業

・事業1（現地活動）、事業2（連携活動）、事業3（視察研修）、事業4（情報発信（講演会、勉強会））

・事業5（災害復旧支援）

・意見・討議集約：





福島の現況報告 [報告:東]

別資料でご報告





かながわ「福島応援」プロジェクト

2025年度 定例総会（第14回）

福島の元気に！
福島的笑顔に！
福島に長く関わる！

「私（みなさん）が福島を伝える。
福島を訪ねて、見て、聴いて、知って、対話する。」

本日の予定は、これで全て終了となります。

これからも宜しくお願いします。

End